

地域密着型金融の取組

金融円滑化の取組	14
コンサルティング機能の発揮	15
地域の活性化への取組	16
お客様の利便性向上のための取組	17
人材育成の取組	18

金融円滑化の取組

地域密着型金融の取組

地域における人々のつながりや温かい人間関係が希薄になりつつある中で、京都信用金庫は「金融サービスを通じて地域の絆を育むこと」がいまのコミュニティ・バンクの果たすべき重要な役割であると考え、お客様と地域社会、当金庫がともに栄えていく地域密着型金融を実践しています。

お客様の資金需要にお応えし円滑な資金供給につとめるとともに、地域の皆様とのお付き合いを通じて蓄積されたノウハウやネットワークを活用してコンサルティング機能を発揮することにより、お客様の経営改善や事業拡大を支援しています。

金融円滑化の取組

● 経営改善支援等の取組実績(平成23年度)

	期初債務者数 A	うち 経営改善支援 取組先数 α	(単位:先数)			(%)		
			α のうち 期末に債務者区分が ランクアップした先数 β	α のうち 期末に債務者区分が 変化しなかった先数 γ	α のうち 再生計画を策定している 全ての先数 δ	経営改善 支援 取組率 α/A	ランク アップ率 β/α	再生計画 策定率 δ/α
正常先 ①	12,937	45		31	1	0.3%		2.2%
要注意先 うちその他要注意先 ②	4,695	259	10	218	132	5.5%	3.9%	51.0%
うち要管理先 ③	190	8	4	1	6	4.2%	50.0%	75.0%
破綻懸念先 ④	463	40	5	29	14	8.6%	12.5%	35.0%
実質破綻先 ⑤	444	6	1	5	0	1.4%	16.7%	0.0%
破綻先 ⑥	207	1	0	1	0	0.5%	0.0%	0.0%
小計(②~⑥の計)	5,999	314	20	254	152	5.2%	6.4%	48.4%
合計	18,936	359	20	285	153	1.9%	5.6%	42.6%

- (注) ・ 期初債務者数及び債務者区分は平成23年4月初時点まで整理しています。
 ・ 債務者数、経営改善支援取組先は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含めていません。
 ・ β には、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しています。
 なお、経営改善支援取組先で期中に完済した債務者は α に含めるものの β に含めていません。
 ・ 期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合は β に含めています。
 ・ 期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従って整理しています。
 ・ 期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めていません。
 ・ γ には、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載しています。
 ・ みなし正常先については正常先の債務者数に計上しています。
 ・ 「再生計画を策定した先数 δ 」=「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」+「整理回収機構の支援決定先」+「金融機関独自の再生計画策定先」

● 再生支援の取組

再生支援手法	平成22年度	平成23年度
公認会計士・税理士・コンサルティング会社等との連携による再生支援	20件	20件
中小企業再生支援協議会を活用した再生支援	11件	13件
京都府・京都市中小企業再生支援融資制度を活用した再生支援	45件	52件

創業・新事業支援の取組

● 創業支援融資

創業支援融資制度「ここから、はじまる」等を活用し、まもなく創業される方や、創業まもない方を対象に創業時の資金繰りを支援しています。平成23年度の実績は54件5億円となりました。

● 成長企業融資

日本銀行が実施する「成長基盤強化を支援するための資金供給」に対応した融資ファンド「事業創造応援ファンド」等を活用し、日本の成長エンジンである環境、エネルギー、医療、介護、研究開発などの事業に取り組むお客様を積極的に支援し、地域経済の活性化をはかっています。平成23年度の実績は76件40億円となりました。

ビジネスマッチングの推進

● 地産地消マッチング商談会

平成24年2月17日、京都北都信用金庫と共同で、飲食チェーンやスーパー、ホテルなどを営む当金庫のお取引先10社と食材の生産、加工業などを営む京都北都信用金庫のお取引先21社が直接商談する「地産地消マッチング商談会」を開催しました。

この商談会は従来の展示会やフェアと異なり、買い手側の商談ブースに売り手側である生産者が食材をPRするという両者のニーズが合いやすい形式で開催されました。



● バイヤーマッチング商談会

平成24年3月9日、百貨店、スーパー等の大手バイヤーが商談ブースを構え、当金庫のお取引先が自社商品をPRする「バイヤーマッチング商談会」を開催し、首都圏・関西圏のバイヤー16社と当金庫のお取引先86社にご参加いただきました。当日はその場で成約に至った事案があるなど活発な商談が行われました。

● 「京都府上海ビジネスサポートセンター」との連携

京都府内の中小企業の中国へのビジネス展開、販路開拓等をサポートするために公益財団法人京都産業21が中心となって開設した「日本公益財団法人京都産業21上海代表処(京都府上海ビジネスサポートセンター)」に、平成22年度の開設当初から当金庫職員を派遣しています。

平成23年度は、同センターが上海の日系百貨店と共催した「京都コーナー」に、京都府内の当金庫お取引先を紹介し、菓子類や伝統工芸品を販売しました。平成24年度は、四川省成都の百貨店等でも京都の物産のアンテナショップを開設しています。

また同センターは中国で現地生産している大手企業と現地に製造拠点を持つ中小企業とを結びつけるため、「京都府中小企業海外進出企業案内ガイドブック」を作成し、発注先の大手企業に配布しています。当金庫もこの事業に協力しており、当金庫お取引先に同ガイドブックへの掲載をおすすめし、ビジネスマッチングを推進しています。



地域の活性化への取組

京信・地域の絆づくり大賞

● 第4回テーマ「残そう町家、守ろうコミュニティ」

創立85周年記念事業として創設した「京信・地域の絆づくり大賞」は、毎年テーマを設定して、地域の活性化に積極的に取り組む方々を顕彰するものです。

第4回となる平成23年度は「残そう町家、守ろうコミュニティ」をテーマとしました。

地域の風土や文化に根ざした住まいである「町家」は、歴史に育まれてゆたかな町並み・コミュニティを形成してきましたが、時代の変化とともに次々と姿を消していきました。しかし、持続可能な社会に向けた取組が活発となるなか、先人から脈々と受け継がれてきた「町家」が「住まい」として再評価されています。

そこで今回は「町家」が生み出す心ゆたかなコミュニティの再生をめざし、地域社会において「町家」の保存・活用・再生のために活動される取組を募集したところ、「保存・活用・再生賞」に60件、「アイデア賞」に155件のご応募をいただきました。その中から「地域の絆づくり大賞」「保存・活用・再生賞」「アイデア賞」を決定し、平成24年3月27日に表彰式を行いました。



受賞者(五十音順・敬称略)

地域の絆づくり大賞

1件

枚方宿地区まちづくり協議会 会長 平澤 英正 (大阪府)

保存・活用・再生賞

10件

大津百町・京町通り札の辻～寺町地区まちなみ協定の会	運営委員長	柴山 久治 (滋賀県)
NPO法人京都伝統工芸活動支援会「京都匠塾」	代表	高橋 博樹 (京都府)
京都秦家		秦 めぐみ (京都府)
特定非営利活動法人 京町家再生研究会	理事長	大谷 孝彦 (京都府)
京町家専門店 エステイト信	店主	井上 信行 (京都府)
三条猪熊 なかい	主宰	中井 邦子 (京都府)
特定非営利活動法人 四条京町家	理事長	小泉光太郎 (京都府)
新釜座町のこれからのを考える会	代表	北西 英彦 (京都府)
株式会社 八清	代表取締役	西村 孝平 (京都府)
株式会社 みらいもりやま21	代表取締役社長	清原 健 (滋賀県)

アイデア賞

10件

石田 房一	吉祥院六斎歴史研究会獅子の如く 代表	(京都府)
上田 昌志		(京都府)
大江 昭雄	パルパローレ設計事務所	(京都府)
大元 尚弘		(京都府)
近藤 茂古		(京都府)
坂本 憲亮	京都府立京都すばる高等学校	(京都府)
向坂 正美	京町家なう、代表	(京都府)
迫田 千恵	京都府立京都すばる高等学校	(京都府)
高木 良枝		(京都府)
松本 堯之	京都府立南丹高等学校	(京都府)

● 「京信・地域の絆づくり大賞」その後の取組～「京ものまちなかギャラリー」の開催



「京信・地域の絆づくり大賞」は、受賞者の方々と地域社会、当金庫の間の絆を深め、新たな活動へとつながっています。

平成24年3月6日から、美術館でも博物館でもないまちなかで「伝統工芸品を間近に見られるギャラリー」として当金庫のロビーを開放する展覧会「京ものまちなかギャラリー」を順次開催しています。この展覧会に第2回「伝統産業を活かした新たな魅力の創造(つなぎ、結び合う)」で大賞を受賞された「京都市伝統工芸連絡懇話会」のご協力をいただき、同懇話会加入企業の作品約50点を展示しました。

平成24年3月6日から23日に本店ロビーで開催された際には、実演コーナーを設けて匠の技をご来店のお客様に披露していただきました。

ネットワークの充実

● 店舗の新築オープン

平成23年9月26日に銀閣寺支店、同12月19日に桂支店を新築オープンしました。今後も地域のお客様の利便性向上と、よりご満足いただけるサービスの提供につとめてまいります。



銀閣寺支店



桂支店

● 一部店舗外ATMコーナーのご利用時間拡大

当金庫のATMをますます便利にご利用いただけるよう、平成23年7月19日より一部の店舗外ATMコーナーについて、平日のご利用時間を最長で午前7時から午後11時までにご拡大しています。

各ATMコーナーの稼働時間等については、窓口または当金庫ホームページにてご確認ください。

● 店舗外ATMコーナーの新設

- 近鉄百貨店桃山店出張所(平成23年7月27日開設)
- マツモト西小路御池店出張所(平成23年11月22日開設)

安心してご利用いただける店舗づくり

当金庫ではバリアフリーを推進し、すべてのお客様が安心してご利用いただける店舗づくりや人材育成に取り組んでいます。お手伝いを必要とするお客様はご遠慮なくお申し出ください。

● 「京都おもいやり駐車場」の設置

平成23年11月1日より、京都府の「京都おもいやり駐車場利用証制度」に参加し、京都府下の9店舗の駐車場を「協力駐車場」として登録しました。

これは、身体等に障がいのある方、内部障がいや高齢者で移動に配慮が必要な方、けが人・妊産婦等で一時的に移動に配慮が必要な方に対し、共通の「駐車場利用証(パーキングパーミット)」を京都府が交付し、車いすマークの駐車場を利用しやすくする制度です。

「協力駐車場」を設置している店舗は次のとおりです。

本店地下1階駐車場・銀閣寺支店・西大路支店・桂支店・園部支店・三山木支店・西宇治支店・城陽駅前支店・松井山手支店



● ご高齢の方、身体の不自由な方をサポートできる人材の育成

ご高齢の方、身体の不自由な方への「おもてなしの心」と「安全な介助技術」を備えた人材を育成するため、NPO法人 日本ケアフィットサービス協会主催の「サービス介助士2級」の取得を職員に奨励しています。

また、認知症の方やそのご家族が安心して当金庫をご利用いただけるよう、京都市長寿すこやかセンターより講師をお招きして「認知症あんしんサポーター養成講座」を開催し、職員の研修を実施しています。



当金庫は地域のお客様に安心と満足を提供するとともに、職員一人ひとりがゆたかな人間性を育み、やりがいを感じながら働ける金融機関をめざして、「豊富な経験と高度な専門知識を兼ね備えた『金融のプロ』育成」と、「職員の自主性・主体性を尊重したキャリア形成」を重視した研修を実施しています。

取引先企業派遣研修

取引先企業派遣研修は、若手職員が金庫の業務を約一ヶ月間離れて、お取引先企業を訪問し、実際の仕事を自らが体験する実践的な研修です。

通常の営業活動では目にすることのない企業の現場を直接肌で感じながら、事業内容や経営の本質に触れ、企業の実態を体感します。こうした経験をすることが、派遣先との絆を形成するとともに、派遣先の業種や企業に対する理解を深め、企業の将来性を見る目を養うことにつながっています。

派遣先の業種は、製造業や小売業、サービス業などさまざまで、平成23年度は8名の職員を派遣しました。



チャレンジ研修



海外の環境、生活、文化を体験する職員

チャレンジ研修は、若手職員が自由な発想のもとで選定したテーマに基づき、企業訪問などを通じて、さまざまな組織や地域、異業種と交流し、絆をつくり、自らをキャリアアップさせる研修です。

国内・海外を問わずテーマや訪問先、スケジュールまですべての内容を自由に企画するこの研修を通じて、将来を担う若手職員は自主性とチャレンジ精神を育み、金融業務のスキル向上にとどまらない幅広い経験を積んでいます。

京信大学

個々の人間力の向上をはかり、時代の変化に対応できる人材を育成するために、自主参加型研修「京信大学」を開講しています。

金融知識に関する勉強会や業界研究講座、中小企業診断士講座などの金融業務のスキルを学ぶ講座を中心とした「専門課程」と、語学講座や日本文化講座などの一般教養についての勉強会を中心とした「一般教育課程」を開講し、職員にスキルアップと自己啓発の場を提供しています。

多くの職員が京信大学を受講し、業務スキルを習得するとともに個人の家庭生活や地域活動を充実させ、ワーク・ライフ・バランスの実現をはかっています。

